

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成26年9月8日

施設名	県立甫喜ヶ峰森林公園	所管課	林業振興・環境部 林業環境政策課
-----	------------	-----	------------------

1 施設の概要

指定管理者名	一般社団法人高知県山林協会	指定期間	平成24年4月1日～平成27年3月31日
施設所在地	香美市土佐山田町平山		
事業内容	(1) 森林公園における行為の許可等及び森林学習展示館の利用の許可等に関する業務 (2) 利用料金の徴収に関する業務 (3) 森林公園の施設、設備、機械器具、立木等の維持管理及び補修に関する業務 (4) 森林公園の設置の目的を達成するための事業の企画及び運営に関する業務		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など 森林公園の面積: 102ha 森林学習展示館: 鉄筋コンクリート平屋建、延床面積400.0m ² 利用時間: 午前9:00から午後4:30まで 休園日: 12月29日から翌年の1月3日まで 主な利用料金: 行商等、興行等 使用面積1m ² 当たり日額20円		
職員体制	常勤職員: 2人	嘱託員: 2人	合計: 4人

2 収支の状況

単位: 千円

		平成24年度(決算)	平成25年度(決算)	平成26年度(予算)
収入	県支出金	16,993	17,048	17,577
	参加料収入等	224	168	283
	収入計 (a)	17,217	17,216	17,860
支出	事業費	295	294	490
	管理運営費	3,318	2,873	3,280
	人件費	16,430	16,244	14,090
	支出計 (b)	20,043	19,411	17,860
収支差額 (a) - (b)		-2,826	-2,195	-

3 利用状況

	平成24年度(実績)	平成25年度(実績)	平成26年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	51,089	49,845	50,000
②利用者意見等の反映	○ 利用者アンケート等の実施状況 ・展示館にアンケートを常備したりイベント時に参加者に記入をお願いするなどしている。 ・ホームページでも意見や問い合わせに対応できるようにメールフォーム等を設置している。		
	○ その他 ・アンケートを分析し、利用者の意見をふまえ、今後の課題を整理するなどサービスの向上に努めている。		
③その他特記事項			

4 平成25年度業務評価

項 目	状 況 説 明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ローテーション勤務により、常に2人以上の勤務体制を確立している。また多くのスタッフを必要とする事業の際は、山林協会本部から応援職員が業務支援を行っている。 ・施設内が適正に管理され、利用者の事故を未然に防ぐ安全確保ができています。 ・地震避難訓練や救急救命講習を実施しており、災害対策への対応が図られている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・甬喜ヶ峰に生息する動植物に関する事業を企画・実施し、身近な森林公園の新たな価値・魅力を発信している。 ・協力団体やボランティアなどと連携を図り、事業展開を行っている。 ・専門誌への掲載や口コミ等の影響でキャンプ場利用者(県外)が増加している。 ・企画展を常時開催したこと等により、学習展示館の利用者が増加した。
③利用実績	<ul style="list-style-type: none"> ・入園者数は49,845人で、24年度比1,244人減となった。ただし個別の施設利用者数でみると、学習展示館利用者は6,107人で24年度比658人増、研修棟利用者は2,633人で34人減、キャンプ場利用者は3,566人で133人増となった。
④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われ、経費節減にも努めている。
総合評価 (A~D4段階)	<p style="text-align: center;">B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた管理費で、おおむね適正な管理が行われている。 ・学校による公園利用が少なく、また流動的(毎年のように継続して利用してもらっていない状況)であることから、森林環境学習プログラムの提案など積極的なアプローチが望まれる。 ・施設の弱点や課題をどう分析し、今後の運営にどう活かしていくかの協議をし、森林公園の役割を考えた施設利用促進につながる取組みが望まれる。

【評価の目安】

- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの